

社 内 ニ ュ ー ス TOPICS

多段流動床式活性炭吸着装置

神鋼パンテック 産業排水分野向けに

Multi-stage fluidized bed activated carbon adsorption equipment for use in industrial waste water treatment

神鋼パンテックは、先に千代田化工建設より多段流動床式活性炭吸着装置「サラブレッドCT-242」の実施権を得、同装置の実証試験を行ってきたが、このほど実用化のための実験を終了し、この4月から販売を開始する。

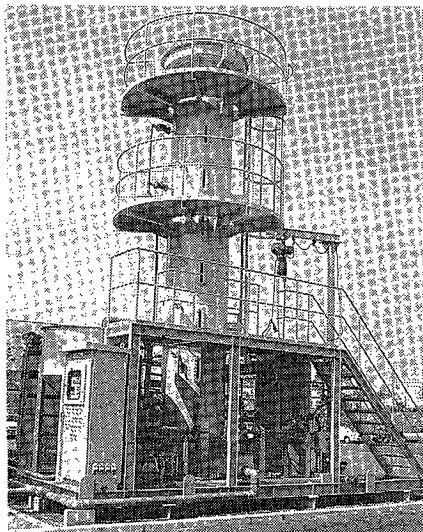
活性炭吸着装置は、排水中のCOD成分を吸着除去する際に用いられ、排水の高度処理には不可欠な施設。従来は固定床式が普通に使用されてきたが、今回販売される多段流動床式には、固定床式にない多くの特長があり、今後の普及が期待されている。流動床式の特長は以下のとおり。

①固定床方式に比べて小粒径の活性炭を使用するため、吸着速度および吸着量が大きくなり、活性炭の利用効率が高くなる。②流動床方式は多段にすることにより、固定床方式に比べて必要面積が $\frac{1}{2}$ から $\frac{1}{3}$ になるうえ、活性炭の初期充填量が少なくなる。③原水中の懸物による汙層の目詰まりがなく、逆洗が不要。④活性炭の供給量を調整することによって処理水質を調整することが可能。⑤運転管理を自動化できるので処理費を低減できる。

また、同活性炭吸着装置は段床に角ロート型トレーを使用しており、活性炭の段間移送がスムーズに行われ、活性炭の閉塞がおきにくい構造となっている。

同社では、今後第3次水質総量規制によるCOD削減及び排水処理の高度化の要求に対応して、同装置を産業排水処理分野を中心に営業展開していく予定。なお、受注目標としては年間5～10億円を目指している。

(’93.3.29 水道産業新聞)



多段流動床式活性炭吸着装置
Multistage fluidized bed activated carbon adsorption equipment

溶接型プレート式熱交換器 神鋼パンテックが販売

「コンパブロック」高温・高圧で使用可能

Shinko Pantec starts marketing activities on welded type heat exchanger "COMPABLOC" introduced from VICARB S. A. (France).

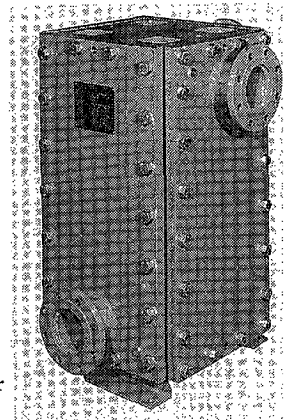
神鋼パンテックは、フランスのメーカーと提携し、溶接型プレート式熱交換器「コンパブロック」=写真=の輸入販売を開始する。プレート同士を溶接構造とすることで、高温、高圧での使用を可能としたもので、同社では原油、天然ガス、石油の精製、食品工業、ファインケミカル、ユーティリティー等の分野へ販売の拡大を図り、初年度1億円、近い将来に3億円から5億円の売り上げを目指す。

今回同社が提携したのは、フランスの熱交換器専門メーカーであるビカーブ社（本社＝サン・マルタン・デール市）。

コンパブロックは、凸凹形にプレス成形された伝熱板を重ねて交互にそれぞれの流体が流れる、プレート構造と呼ばれる形式。2種類の液体または気体が交互にプレート内で直交して熱交換するもので、高い熱伝導性を持ち、パス数の変更も容易にできる。

また従来のプレート式熱交換器は高温、高圧に適さなかったが、同装置はプレート同士が溶接構造になっているためにガスケットがなく、より高温、高圧での使用が可能である。また、従来、高温、高圧分野に採用されていた多管式熱交換器に比べ、設置スペースを縮小できる。

(’93.5.28 日刊金属特報)



溶接型プレート式熱交換器
コンパブロック
Welded type plate heat exchanger
COMPABLOC

(コンパブロックの詳細構造につきましては本誌第19頁の紹介記事をご参照ください。)

地域冷暖房用冷却塔

神鋼パンテック 西日本最大級を納入

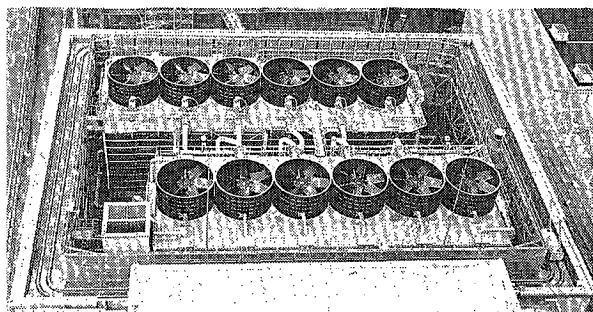
神戸ハーバーランド地区 都市環境に配慮

Cooling towers for district heating and cooling installed at Kobe Harborland Energy Center, Largest scale in Western Japan and specially designed to fit urban environment

神鋼パンテックは、大阪ガス・神戸ハーバーランドエネルギーセンターに西日本最大規模の地域冷暖房用冷却塔を納入した。長さ29m、幅12m、高さ12mの冷却塔2基で、1時間の冷却水量は合計14700m³、これにより神戸ハーバーランド地区の商業施設、オフィスビルほか10数棟のビル群、延べ床面積575000m²に冷・温熱が供給される。

今回納入された冷却塔は、一般の空調用冷却塔に比べ40%の省スペースとなっているため、高地価の都心部のエネルギーセンターに適し、また騒音が少なく白煙も出ないなど、都市環境も配慮されている。

同社は国内最初の地域冷暖房用冷却塔を70年に納入以来、納入実績が35ヶ所に上るトップメーカー。今回納入した都市型の冷却塔は、地域再開発計画、ウォーターフロント計画向けに引き合いが多く寄せられており、同社では積極的に受注拡大を目指す。（'92.11.2 日刊金属特報）



神戸ハーバーランドエネルギーセンターに設置された西日本最大の地域冷暖房用冷却塔（合計水量 14700m³/h）
Cooling tower installed at Kobe Harborland Energy Center

神鋼パンテック、タイ電力庁より世界最大級の冷却塔設備を受注

SHINKO PANTEC again received order of world largest cooling towers for electric power station in Thailand

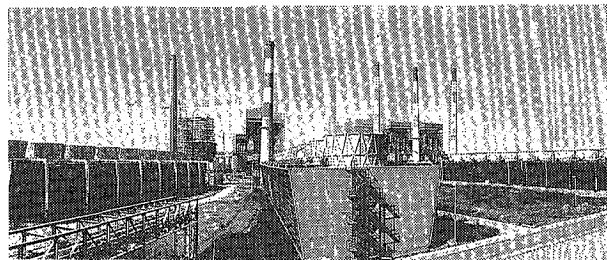
神鋼パンテックは、丸紅と共同でタイ電力庁から発電所用の大型冷却塔設備2基を受注した。受注額は約15億円。契約内容は冷却塔、冷却水循環ポンプならびに、同配管一式の納入と現地での据付工事の指導で、機器納期は94年7月を予定している。

受注した冷却塔設備の1基当たりの冷却水量は、33120m³/hで、世界でも最大級のもの、これをタイ北部チェンマイ南東約100kmのランバン近郊にある、マエモ火力発電所（石炭火力発電所としては世界最大規模）のタービンコンデンサー用に設置する。

マエモ発電所は、240万kW（4～13号機）もの発電を行

い、タイ全土の電力需要の25%をカバーしている。同国電力庁は、国内の電力需要の増加に応じてこのマエモ発電所の増設に着手。同社も、82年から91年にかけて8基の大型冷却塔設備を納入、これまで順調に運転を続けており、こうした過去の実績が今回の受注につながった。

同社は、1962年（昭和37年）に産業用冷却塔の販売を開始して以来、工業用冷却塔のトップメーカーとして国内・海外へ総計5000基の各種冷却塔を納入してきた。今後もこうした豊富な実績をもとに、タイ、インドネシアを始めとする東南アジアおよび中近東へ受注拡大を目指していく方針。（'93.2.3 重化学工業新報）



タイ電力庁マエモ発電所に前回納入した冷却塔
Previously delivered cooling towers at Mae Moh power station in Thailand

展示会 EXHIBITION

第3回ウルトラクリーン・テクノロジーショウ開催 Ultraclean Technology Show

去る4月12と13日の2日間、埼玉県大宮市のソニックシティホールで第3回ウルトラクリーンテクノロジー（UCT）ショウが、半導体基盤技術研究会の主催で開催され、半導体産業に適用される高浄化用の部品や薬品のメーカー約30社の展示参加があった。

当社は素材からのコンタミネーションの問題を解決することを目指しているGOLDEPホワイト製品を紹介した。高純度薬品容器の展示や超純水装置並びに超純水加熱装置をパネルで紹介し、VTRにより技術内容の説明を行った。約150名の来場者の強い興味を引きつけ、多くの問い合わせがあった。また同時に開催されたセミナーでは、GOLDEPホワイトの技術全般と適用事例について講演し好評をばくした。



当社小間
Shinko Pantec's exhibition room